

## (社)日本教材備品協会定時総会特集



**平成21年度は教材整備にとって千歳一隅のチャンス  
各自の努力で成果に結びつけよう!!**

会 長

**大江 正之**

(株内田洋行 常務取締役)

平成21年度(第12回)定時総会に当たり皆様ご多忙にもかかわらず、北は青森県、南は鹿児島県から県会長さんを始めとしてたくさんの会員さんにご出席いただき感謝申し上げます。平成20年度は、1年前この会場で法人認可10周年記念行事を行い、次の10周年へ向けてスタートした新たな1年間であったが経済環境が悪く厳しい1年間であった。新学習指導要領の円滑な実施に向けての教材整備計画として「緊急3カ計画」が打ち出されるとともに平成21年度補正予算において多額の教育関係予算が計上されたのは、われわれが国会議員や関係諸官庁に強力な陳情活動を行った結果と考える。こうし

た教育関係予算がついたのは千歳一隅の機会ととらえ会員各位が各自の努力で成果が得られるよう頑張っていたきたい。今年も公益法人としてのJEMAの果たすべき役割は大きいのでさらに発展するために会員皆様のご支援をお願いしたい。

尚、今回の役員選挙で会長として留任することになったが5期目9年目に入ったこととなります。山高きゆえに貴からず例えの通りであるが永年教育業界で培った経験を生かして全力投球したい。私自身の年齢的なこととJEMA活動として対外的な活動や公益法人改革などの大きな課題に取り組むにあたって大久保昇副会長を会長代行とし活動してもらいたいと思います。そして、会員のため、我が国の教育のためになるよう精一杯努力する所存であります。

# 平成21年度(第12回)定時総会

平成21年度(第12回)定時総会は、5月13日(水)午後2時30分より東京都千代田区九段北のアルカディア市ヶ谷(私学会館)で都府県協会会長さんや関東周辺の販売会員さんならびに製造会員さんが出席して開催されました。

## I 出席確認

司会を担当した兵庫県教材備品協会会長田秀人会長より「販売会員・製造会員合わせて総数843名に対して出席数459名(うち、委任状397名)は過半数の423名をオーバーしているので定款28条に基づき有効であり全議案を審議できる」旨の発言があり定時総会はスタートしました。



司会 長田秀人兵庫県会長

## II 開会挨拶

司会の指名により久元哲夫副会長が「本日はご多忙にもかかわらず多数ご出席をお礼申し上げる」と述べ開会を宣言した。



開会挨拶 久元哲夫副会長

## III 会長挨拶

(省略、会長挨拶は1ページに掲載)



会長挨拶 大江正之会長

## IV 議長の選出

司会者より「定款27条の定めにより、議長は会長が務めるとなっていることから議長を大江会長にお願いする」と発表があり大江会長が議長席に移り議事に入りました。

## V 審議事項

### 1) 第1号議案 平成20年度事業報告承認の件

新田事務局長代行より総会要領にもとづき平成20年度事業活動などの報告があり議長が諮ったところ異議なく承認された。事業概要は次の通り。

- ①法人認可10周年記念式典挙行
- ②JEMA安全基準適合認定制度着実に前進
- ③教材活用事例集の作成と県協会一体となった普及啓発活動の実施
- ④JEMA新教材整備指標の完成
- ⑤教材整備緊急3カ年計画の実現

### 2) 第2号議案 平成20年度収支決算承認の件

新田事務局長代行より総会要領に基づき収入の部と支出の部について説明、引き続き貸借対照表ならびに期末剰余金処分案について説明した。



事業報告  
新田哲夫事務局長代行

《監査報告》

監事の具嶋聖二郎氏より「4月10日、事務局において監査したところ正確に処理されている」との報告があり、「会費回収に努力してほしい」旨の発表がありました。

監査報告後議長が諮ったところ異議なく承認された。



監査報告 具嶋聖二郎監事

3) 第3号議案 役員選挙

今年は役員(理事・監事)の改選期。

事務局より「理事の立候補者は19名、監事の立候補者2名でいずれも定員以内なので投票でなく信任にて選出したい」と説明があり、平成21年～22年役員立候補者名簿を確認し満場一致で信任選出された。

信任された理事・監事が総会場から別室に移り役員について互選を行って、会長(1名)、副会長(3名)、専務理事・事務局長(1名)が決定した。

定時総会場で出席者に平成21年～22年担当する役員・理事・監事が紹介されたあと会長に留任した大江正之氏が役員を代表して挨拶を行った。

《大江会長挨拶は1面に掲載》

なお、事務局より「当会の理事選出日と異なる日に決まる全日本中学校長会、全国連合小学校長会、全日本公立小中学校事務職員研究会、全国市町村教育委員会連合会の会長は決定時点で新しく選出された会長が当会の理事になる」ことの承認を求めたところ満場一致で承認された。



新しく選出された 堀内敬樹専務理事・事務局長

役員選挙

総会で選出された理事の互選により平成21年度～22年度担当する三役が決定いたしました。

会長には大江正之氏(株内田洋行顧問)が留任、副会長には久元哲夫氏(新日本造形(株)常務取締役)・大久保昇氏(株内田洋行専務取締役)の二人が留任し、新しく吉川圭介氏(日本ビクター(株)理事プロシステム事業部長)が選任されました。そして、専務理事・事務局長には堀内敬樹氏が選出されました。

(退任役員)

本年の役員選挙で次の4名の方々が退任した。

- 専務理事・事務局長 小竹真臣氏
- 理事 磯田正美氏(筑波大学准教授)
- 〃 嶋野道弘氏(文教大学教授)
- 監事 具嶋聖二郎氏  
(株美術出版サービスセンター)

JEMAの活動に色々ご指導いただいた4名の方々には御礼申し上げます。

社団法人 日本教材備品協会 役員一覧

(順不同、敬称略)

| 社団の役職        | 氏名     | 役職名                   | 就任年月日      | 備考  |
|--------------|--------|-----------------------|------------|-----|
| 会長           | 大江 正之  | 株内田洋行顧問               | 平成13年5月18日 | 非常勤 |
| 副会長          | 大久保 昇  | 株内田洋行専務取締役 教育システム事業部長 | 平成17年5月13日 | 〃   |
| 〃            | 吉川 圭介  | 日本ビクター(株)理事プロシステム事業部長 | (新)        | 〃   |
| 〃            | 久元 哲夫  | 新日本造形(株) 常務取締役        | 平成19年5月11日 | 〃   |
| 専務理事<br>事務局長 | 堀内 敬樹  |                       | (新)        | 常勤  |
| 理事           | 遠山 耕平  | 三井住友海上火災保険(株)顧問       | 平成13年5月18日 | 非常勤 |
| 〃            | 浅見 匡   | 前浦和市教育長               | 平成13年5月18日 | 〃   |
| 〃            | 北 俊夫   | 国士館大学教授               | (新)        | 〃   |
| 〃            | 中村 裕   | 全国市町村教育委員会連合会会長       | 平成19年5月11日 | 〃   |
| 〃            | 滝井 章   | 國學院大學教授               | (新)        | 〃   |
| 〃            | 木村 信哉  | 全国公立小中学校事務職員研究会会長     | 平成19年5月11日 | 〃   |
| 〃            | 岩瀬 正司  | 全日本中学校長会会長            | (新)        | 〃   |
| 〃            | 向山 行雄  | 全国連合小学校長会会長           | (新)        | 〃   |
| 〃            | 小笠原暢成  | 株小笠原 代表取締役会長          | 平成13年5月18日 | 〃   |
| 〃            | 井口 磯夫  | 十文字学園大学教授             | 平成17年5月13日 | 〃   |
| 〃            | 太刀川善之助 | 株平野屋会長                | 平成15年5月16日 | 〃   |
| 〃            | 伊平 保夫  | 前大妻女子大学教授             | 平成15年5月16日 | 〃   |
| 〃            | 山田 雅俊  | 株全教団代表取締役             | (新)        | 〃   |
| 〃            | 岡田 真嘉  | 株トップマン代表取締役           | 平成19年5月11日 | 〃   |
| 監事           | 大原 仁   | 帝国器材(株)副社長            | 平成18年5月12日 | 〃   |
| 〃            | 高橋 直義  | 株美術出版デザインセンター営業部長     | (新)        | 〃   |

## 4) 第4号議案 平成21年度事業計画承認の件

## 〔1〕総括

大江会長が下記の平成21年度活動テーマについて説明した。

- ①教材整備緊急3カ年計画を実りあるものにするために諸活動を展開する。
- ②安心安全な教材教具の一層の拡大に努める。
- ③厳しい経済環境の中でJEMAの組織化の原点に戻り活動の再構築。
- ④公益法人改革に見合った公益性の高い法人を目指す。
- ⑤新学習指導要領全面実施対応する教材整備活動の展開。

## 〔2〕委員会活動→委員会活動の詳細については別掲参照

委員会活動については、総会要領に基づき四つ委員会の委員長が説明を行った。

|         |         |
|---------|---------|
| 企画推進委員会 | 大久保昇委員長 |
| 普及啓発委員会 | 久元哲夫委員長 |
| 研究開発委員会 | 石崎裕行委員長 |
| 広報委員会   | 天道善行委員長 |

委員長説明後議長が諮ったところ異議なく承認された。

## 委員会報告



企画推進委員会 大久保委員長



普及啓発委員会 久元委員長



研究開発委員会 石崎委員長



広報委員会 天道委員長

## 5) 第5号議案 衛星21年度収支予算案承認の件

新田事務局長代行が総会要領に基づき「収入の部」「支出の部」を説明。

議長が諮ったところ異議なく承認された。

## 6) 第6号議案 公益法人改革の件

新田事務局長代行が総会要領にもとづき「これから5年以内に公益法人制度改革に基づきJEMAの進路を決めなくてはならないが色々検討すべき課題があり検討の場を理事会に任せてほしい」と要請した。進路が決まり次第総会に報告するむねを述べた。

議長が諮ったところ異議なく承認された。

最後に、議長より議事録署名人として、製造会員代表して㈱トップマンの岡田真嘉氏と販売会員を代表して㈱平野屋の太刀川善之助氏が指名された。

以上で議事のすべてが終了し大江正之会長が議長席より降りた。

## Ⅵ 閉会挨拶

司会の長田秀人氏が閉会の挨拶に大久保副会長を指名した。

本日の総会への出席のお礼と今後1年間の会員の活躍を期待すると閉会のあいさつを行った。



閉会挨拶 大久保昇副会長

# 平成21年度委員会活動

## 〔2〕委員会活動

| 委員会                       | 活動テーマ                                                                                                                                                                          | 具体的活動                                                                                                                                                                                                                              |
|---------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 企画推進委員会<br>委員長<br>(岩瀬 英人) | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教材整備の財源である交付税の措置率向上へ向けての要望活動の推進。</li> <li>2. 会員増を図り財政の健全化に取り組む。</li> <li>3. 公益法人改革の理念に則った選択を行う。</li> </ol>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>●教育環境整備に向けて、義務教育水準の確保、地域間格差解消などからあらゆる機会を捉えて全国に自治体に向けて県協会、業界団体共同で活動する。</li> <li>●製造会員に的を絞って会員増を目指すことで業界として存在感のある組織の確立を目指す。</li> <li>●5年間の期限の初年度として改革を充分勉強し今年度中に進路の選択を行う。</li> </ul>          |
| 普及啓発委員会<br>委員長<br>(久元哲夫)  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 委員の協力により都府県協会の再生を図る。</li> <li>2. 教材整備緊急三ヵ年計画の推進のための研修会の実施</li> <li>3. 教材整備の新指標を全国的に普及させるための活動の実施。</li> </ol>                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>●目標30地区開催(平成20年25地区)。なお、対策地区として西日本地区を中心とする。</li> <li>●販売会員には県総会中心に、製造会員には研修会を開催し、当三ヵ年計画について勉強し、会員各自が活動の成果を得られるようにする。</li> <li>●全事研、全日中、全連小など団体に呼びかけ、教育環境の整備促進を目指す。</li> </ul>               |
| 研究開発委員会<br>委員長<br>(石崎裕行)  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. JEMA安全基準のさらなる普及→製造会員の積極的取組促進。製品製造への反映。</li> <li>2. JEMA安全基準」の対象領域拡大の研究→室内空気だけでなく肌に触れる、口に入れる安全性</li> <li>3. 申請システムの標準化、簡易化</li> </ol> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●教育委員会、学校への認知活動の推進。全事研、全日中、全連小など団体への共同活動呼。</li> <li>●新たな切り口による安全制度確立の研究。<br/>→(例、食品衛生基準に基づく安全な製品。)</li> <li>●理解促進のための勉強会の実施。過去4年間の調査の公表。</li> </ul>                                         |
|                           | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教材情報共有システムの9月オープンを目指し活動</li> <li>2. 先生方に役立つ教材整備の新指標の作成</li> <li>3. 長期展望に基づく教材整備指針の作成</li> </ol>                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>●システム稼働を目指した内容、運営の検討及び実施。<br/>→WEB表示の内容、製造会員の参加推進、維持運営のシステム構築。</li> <li>●教材の効果、単元との関係など表示することで授業計画時の教材選択が容易になるような指標の確立を目指す。</li> <li>●21年～23年教材整備緊急3ヵ年計画に続く5年計画の教材整備指針の作成と提案を行う。</li> </ul> |
| 広報委員会<br>委員長<br>(天道善行)    | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. JEMAホームページによる迅速な情報公開</li> <li>2. 教育業界協力による文教予算拡大のための広報活動の展開</li> <li>3. 機関紙のタイミング良い発行</li> </ol>                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>●6月にリニューアル、情報提供に迅速化を図る。</li> <li>●共同PR、共同編集、共通テーマによる広報の実施</li> <li>●JEMA News年4回発行、教材情報 年3回発行し会員への情報提供と学校現場への情報提供を心掛ける。</li> </ul>                                                          |

※総会終了後開催された第45回理事会で企画推進委員長は大久保昇氏から岩瀬英人氏に変更になりました。

# 第12回定時総会懇親会



会場風景



伊藤達也先生



坂井学先生

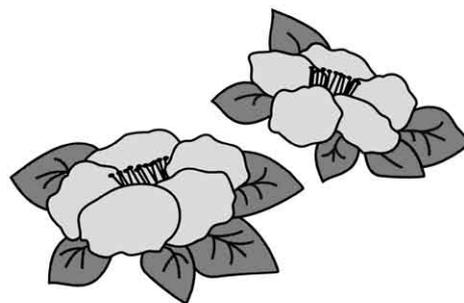


鳩山邦夫先生 代理：鳩山太郎秘書

平成21年度(第12回)定時総会終了後、懇親会がアルカディア市ヶ谷(私学会館)6階「霧島の間」で午後5時30分より、国会議員の先生方をはじめ所管の文部科学省や総務省、それに業界関連の方々が出席され盛大に開催されました。

- 国会議員 鳩山邦夫先生(代理)、伊東達也先生  
坂井学先生、藤井裕久先生(代理)
- 文部科学省 前川喜平 初中局担当審議官  
勝山浩司 財務課教育財政室長  
石田有理 財務課教育財政室調整係長  
内藤孝行 財務課教育財政室調整係
- 総務省 吉永 浩 自治財政局交付税課長補佐

- 業界 山口忠厚 (社)日本教育工学振興会常務理事  
森田和夫 〃 事務局長  
岡部守男 (財)日本視聴覚教育協会常務理事  
松谷信治 (社)日本教育工学振興協会常務理事  
神山 武 全日本教材教具協同組合
- 教育界 青柳修治 全日本中学校長会事務局長  
福田和子 全国都市教育員会連合会  
事務局次長  
檜山幸子 全日本公立小中学校  
事務職員研究会副会長



これらのお客様に加えて、県会長、東京近郊の販売会員様、製造会員様そして理事等総計 130 名近く方々が出席する盛大な懇親会となりました。

懇親会は、高橋直義準備委員の司会で始まり、日ごろお世話になっています国会議員の先生方からの祝辞でスタートいたしました。まず、当会顧問の鳩山邦夫総務大の代理とし政務秘書官の長男の鳩山太郎さんの祝辞、続いて伊藤達也先生、坂井学先生のご祝辞があり最後に藤井裕久先生の代理・大貫秘書さんの祝辞をいただきました。ご祝辞終了後、本日の総会で選出されました吉川圭介副会長のご発声で乾杯を行いました。

短時間ではありましたがご参加いただきました会員の交流が持たれぜひ今年教材業界にとって良き年にしようとの強い意志が発せられた場となりました。



司会 高橋直義準備委員



乾杯挨拶 吉川圭介副会長



中締め 水野武和福島県会長



## 定時総会記念講演



講師 勝山浩司 先生  
(文部科学省初等中等教育局財務課教育財政室長)

定時総会記念講演は文部科学省初等中等教育局財務課教育財政室長・勝山浩司先生より「新学習指導要領と教材整備計画の動向－教材整備緊急 3 ヶ年計画－」と題して講演いただいた。



## 定時総会祝辞



前川喜平 先生  
(文部科学省 大臣官房審議官)

定時総会、定時総会記念講演が終了した時点で所管の文部科学省初等中等教育局担当審議官・前川喜平先生より祝辞をいただいた。

# 県教材備品協会会長会議開催

日時 平成21年5月13日(水)  
 場所 アルカディア市ヶ谷(私学会館)  
 議題 1) JEMAに期待するもの  
 2) 県協会はどう活動するか  
 3) 需要創造のための活動

第12回定時総会に先立ち、午後12時15分から定時総会開始直前の14時15分まで北は青森県から南は鹿児島県からお集まりいただいた22都府県協会長様にお集まりいただき県協会が開催されました。



座長 太刀川新潟県協会会長

## 〈出席会長様〉

|     |       |      |      |
|-----|-------|------|------|
| 青森県 | 田中会長  | 千葉県  | 白石会長 |
| 秋田県 | 木村会長  | 神奈川県 | 宮台会長 |
| 岩手県 | 千田会長  | 岐阜県  | 光岡会長 |
| 山形県 | 鈴木会長  | 三重県  | 坂井会長 |
| 福島県 | 水野会長  | 京都府  | 佐野会長 |
| 茨城県 | 鴻野会長  | 兵庫県  | 長田会長 |
| 新潟県 | 太刀川会長 | 愛媛県  | 嶋田会長 |
| 長野県 | 小池会長  | 長崎県  | 小淵会長 |
| 栃木県 | 石塚会長  | 熊本県  | 吉竹会長 |
| 群馬県 | 茂木会長  | 鹿児島県 | 坂下会長 |

## 〈協会出席者〉

大江会長  
 久元副会長  
 大久保副会長  
 具嶋監事  
 石崎研究開発委員長  
 北川事務局員  
 新田事務局長代行

## 1) JEMAに期待するもの “情報を早急に”

出席会長一人ずつからJEMAへ期待することをお聞きしました。大半の会長より、予算動向などの情報をより早く、正確に流す役割を期待したいとのこと。そして情報も、紙ベースでなく、メールによる情報発信を期待されています。

JEMAでは、平成21年度の会員との交流はインターネットを介して行うべく活動していきます。JEMAへの要望では、未加入メーカーへの勧誘や新しい予算づくりが期待されています。

## 2) 県協会の活動について

### “JEMAの知名度のアップを”

出席会長一人ずつから各県の今年度どのような活動をするのか発表いただきました。

県協会の活動としては、会員のレベルアップのための商品研修会、会員共同での予算陳情、JEMA認知度アップのための活動が本年の活動の中心となっています。

また、先生のための教育セミナーや展示会などの開催を模索している県もありました。

## 3) 需要創造のための活動

事務局より平成21年度の教材需要創造のための活動として、

- ①新しい『JEMA教材整備指標』の普及
  - ②教材整備に役立つ『教材データベース』
  - ③教材の普及活動のために『実践事例集』の活用
- の3点が提案され、各県協会の総会時に具体的な内容を会員に示し実践していくことになりました。

## 4) 事務局からの要望

### “県総会の早期開催を！”

今年は、教材整備に種々の予算が付き千歳一隅のチャンスですので県教科総会の早期開催を県協会長さんに要求いたしました。会員の皆様には県協会総会に出席いただき予算の内容や動向を理解していただき営業活動を展開することが成果となって現れますので是非ご出席ください。



平成21年～23年

# 新学習指導要領の円滑な実施のための 教材整備緊急3ヵ年計画スタート!!



文部科学省は教材整備について、平成14年から5年間「教材機能別分類表」に基づく整備を行い、平成19年から20年度の2年間はそれぞれ単年度の措置を行なって来ました。平成21年度から23年度の3年間は新学習指導要領の円滑な実施のためとして『教材整備緊急3ヵ年計画』を打ち出しました。趣旨、積算内容、年次計画額は次のとおりです。

## 1 趣旨

新学習指導要領に基づいた指導が確実かつ適切になされるよう、移行期間である平成21年から23年度までの3ヵ年間に限定して、新たに必要となる教材の整備を促進するための措置。

|         |       |
|---------|-------|
| 平成22年度  | 825億円 |
| (うち新規分) | 96億円  |
| 平成23年度  | 818億円 |
| (うち新規分) | 79億円  |

## 2 積算内容

- 1) 既に学校が保有している教材について、更新に必要な経費を積算。
- 2) 新学習指導要領に対応するため、外国語活動(小学校)、武道必修化(中学校)及び和楽器整備(中学校区)に必要な新規分の経費を積算。
- 3) 新規分は新学習指導要領の移行期間である小学校2年間(平成21年度から22年度)、中学校3年間(平成21年度から23年度)を計画期間とする。
- 4) 新規分についても整備翌年度から更新分対象教材に組み入れる。

この緊急3ヵ年計画における積算額の特長は、既存教材の更新分に加えて新指導要領に対応すべく新規分が加算されていることです。

それだけに学校は教材整備にあたって、

- ①新学習指導要領全面実施を見越して、教材の整備を策定する—あらたに整備が必要と考えられる教材のリストアップ
- ②新規必要教材、数量不足教材、故障老朽化した教材、新技術のデジタル教材などリストアップ

することによって計画性のある、的確な整備が進むこととなります。

今までの教材費予算措置率(※)は低下の一途でした。平成8年度公立小・中学校の教材費措置率は101.4%から年々下がり続け平成19年度では65.3%となっています。然し、過去2回の学習指導要領の改訂に伴う移行措置期間中だけは予算措置率は上向きとなっています。

※教材予算措置率とは基準財政需要額に対する決算額の割合のことをいう。

## 3 年次計画額

|         |         |
|---------|---------|
| 3ヵ年計画総額 | 2,459億円 |
| 内訳 更新分  | 2,188億円 |
| 新規分     | 271億円   |
| 平成21年度  | 816億円   |
| (うち新規分) | 96億円    |

各学校においてはこのチャンスを逃すことなく教材整備を行い、教材を使用することによって新学習指導要領の狙いである「習得」「活用」の学習活動を充実することが必要です。

# 新学習指導要領の円滑な実施のための教材整備緊急3カ年計画スタート

## 平成21年度は教材整備のチャンスです!!

- ◎ 新学習指導要領の導入に伴い、必要となる教材をリストアップする。
- ◎ 新学習指導要領の全面実施を見越して、教材の整備を策定する。

新学習指導要領の実施により各学校において新たに整備することが考えられる教材(例)

### 【小学校】

#### 教材整備のポイント

- 新規必要教材
- 数量不足教材
- 故障・老朽化した教材
- 新しいデジタル機器

| 教科等          | 学習指導要領の改訂内容(主なもの)                                                   | 教材例                                                                                                       |
|--------------|---------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学校全体で共用可能なもの | (技術革新に伴うもの)                                                         | 電子黒板、電子情報ボード、地上デジタル放送対応テレビ、DVD・ブルーレイプレイヤー、DVD・ブルーレイレコーダ、ICレコーダ、拡大投影機など                                    |
| 国語           | 古典に関する指導(ことわざ、故事成語、伝説、古文・漢文の音読など)を充実                                | 古典を題材とした教授用掛図・紙芝居・DVD・ブルーレイ・CDソフト、百人一首、かるたなど                                                              |
| 社会           | 世界文化遺産、国宝、重要文化財などの文化遺産に関する学習の充実<br>47都道府県の位置と名称、縄文時代の指導の移行(中学校→小学校) | 文化遺産を題材とした教授用掛図・DVD・ブルーレイソフト・PCソフトなど<br>都道府県や縄文時代を題材とした教授用掛図・PCソフトなど                                      |
| 生活           | 動植物の継続的な飼育栽培の明確化、安全教育に関する内容、遊びに使う物を工夫して作るなど遊びに関する内容を充実              | 飼育栽培活動のためのサークルやかご、安全教育などのための地域マップ、植物観察用のデジタルカメラ、書画カメラ(実物投影)、遊びを充実させるための工作道具(段ボールカッター、グルーガン、キリ、金づち、のこぎりなど) |
| 音楽           | 鑑賞教材について、和楽器を含めた我が国の音楽の指導を充実                                        | 伝統音楽の鑑賞指導用のCD・DVD・ブルーレイソフトや和楽器(箏、三味線、尺八、篠笛、締太鼓、箏楽(ひちりき)など)など                                              |
| 図画工作         | 感性を働かせながら材料や用具を活用して作るなど、造形的な創造活動を充実                                 | 金づち、のこぎり、糸のこぎり、電動糸のこぎり、小刀、くぎ抜き、ペンチ、ラジオペンチ、土練機、粘土槽、彫刻刀など                                                   |
| 家庭           | 五大栄養素に関する指導の移行(中学校→小学校)                                             | 五大栄養素に関する掛図や黒板など                                                                                          |
| 体育           | 「体づくり運動」を充実(低・中学年にも規定)発達の段階に応じた指導内容の体系化・明確化                         | Gボール、平岡台、竹馬など体づくり運動に関する教材<br>ミニハードル、ソフトボール用具一式、ソフトバレーボール用具一式など                                            |
| 道徳           | 情報モラルや基本的な生活習慣、社会生活上の決まりに関する指導などを重視                                 | 情報モラル、生活習慣、さまりに関する掛図・DVD・ブルーレイソフトなど                                                                       |
| 外国語活動        | 高学年から新規に導入                                                          | 外国語版の世界地図や地球儀、外国の歌・チャント、文化等を題材としたピクチャーカード、CD・DVD・ブルーレイソフト、模型(世界の貨幣、世界の食べ物など)など                            |
| 特別活動         | 自然の中での集団宿泊活動を一層推進                                                   | 自然体験活動関連用具一式(テント、飯ごう、拡声器など)など                                                                             |
| 算数           | 図形や数量関係に関する指導の充実<br>算数的活動を指導内容として規定                                 | ひし形・台形の面積の求め方の教材<br>計算カード、色いた、ジオボードなど                                                                     |

【中学校】

| 教科等          | 学習指導要領の改訂内容(主なもの)                              | 教材例                                                                    |
|--------------|------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|
| 学校全体で共用可能なもの | (技術革新に伴うもの)                                    | 電子黒板、電子情報ボード、地上デジタル放送対応テレビ、DVD・ブルーレイプレイヤー、DVD・ブルーレイレコーダ、ICレコーダ、拡大投影機など |
| 国語           | (伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)を新設し、古典に関する指導を重視         | 古典を題材とした教授用掛図・紙芝居・DVD・ブルーレイ・CDソフト、百人一首、かるたなど                           |
| 社会           | 世界の諸地域(7地域に分類)の特色に関する指導を充実(原稿は2~3カ国の調査学習)      | 世界の諸地域における自然、産業、生活・文化、歴史的背景などを題材とした教授用掛図・DVD・ブルーレイ・PCソフトなど             |
| 音楽           | 生活と宗教とのかかわりや世界の宗教分布、宗教の多様性など宗教に関する指導を充実        | 世界の宗教の分布や宗教の多様性などを題材とした教授用掛図・DVD・ブルーレイ・PCソフトなど                         |
| 美術           | 邦楽指導の重視(我が国の伝統的な歌唱や和楽器の指導の充実など)                | 伝統音楽の鑑賞指導用のCD・DVD・ブルーレイソフトや和楽器(箏、三味線、尺八、篠笛、締太鼓、箏篋(ひちりき)など)など           |
| 保健体育         | 我が国の美術文化に関する鑑賞指導を充実                            | 我が国の美術文化を題材とした教授用掛図・DVD・ブルーレイ・PCソフト・模型など                               |
| 技術・家庭        | 武道の必修化                                         | 武道(柔道、剣道、相撲など)を題材としたDVD・ブルーレイ・PCソフト、実習に必要な武道具(柔道着、柔道畳、剣道防具、簡易まわしなど)など  |
| 外国語          | 消費者の権利と責任、和服の着方などに関する指導を充実(家庭分野)               | 消費者の権利と責任や我が国の衣食住文化などを題材としたDVD・ブルーレイ・PCソフト、実習用の浴衣など                    |
| 道徳           | デジタル作品の制作(アニメーションの作成など)や生物育成に関する学習内容を必修化(技術分野) | デジタル作品の制作や生物育成を題材としたPC・DVD・ブルーレイソフト、生物育成に必要な栽培・飼育用具一式など                |
| 特別活動         | 指導語数の増加、教材の題材の充実、言語活動の充実                       | 音声指導のためのCDソフト、文化等を題材としたDVD・ブルーレイソフト、ビジュアルカード、フラッシュカードなど                |
| 数学           | 情報モラル、法やきまりなどの規範意識に関する指導などを重視                  | 情報モラル、先人のきまりやしきたりに関する掛図・DVD・ブルーレイソフトなど                                 |
|              | 職場体験活動を一層推進                                    | 勤労観・職業観の育成に資するDVD・ブルーレイ・PCソフトなど                                        |
|              | 「資料の活用」を新設し、統計に関する指導を充実                        | ヒストグラム、相対度数黒板、標本                                                       |
|              | 小学校との円滑な接続の観点からの内容充実                           | 図形の移動、球の表面積                                                            |

新学習指導要領の全面実施に向けた準備は万全ですか?  
 約40年ぶりに授業時数と指導内容が増えました!!

- 小学校 ◇ 国語・算数・理科・体育の授業時数を10%程度増加など
- 中学校 ◇ 国語・社会・数学・理科・外国語・保健体育の授業時数を実質10%程度増加など

# 平成21年度スケジュール

| 開催時期          | 行事名                                            | 場所                          | 備考                |
|---------------|------------------------------------------------|-----------------------------|-------------------|
| 平成21年<br>6月9日 | 第45回理事会<br>県総会開催<br>各委員会開催                     | 公立共済四谷ビル<br>開催県<br>公立共済四谷ビル | 理事<br>会員<br>各委員   |
| 7月1日          | 平成21年度製造会員会議<br>県総会開催<br>各委員会開催                | 〃<br>開催県<br>公立共済四谷ビル        | 製造会員<br>会員<br>各委員 |
| 8月            | 毒劇資格取得試験準備講習会<br>(7/27～8/2)<br>県総会開催<br>各委員会開催 | 〃<br>開催県<br>公立共済四谷ビル        | 希望会員<br>会員<br>各委員 |
| 9月9日          | 第46回理事会<br>県総会開催<br>各委員会開催                     | 〃<br>開催県<br>公立共済四谷ビル        | 理事<br>会員<br>各委員   |
| 10月           | 県総会開催<br>各委員会開催                                | 開催県<br>公立共済四谷ビル             | 会員<br>各委員         |
| 11月           | 県総会開催<br>各委員会開催                                | 開催県<br>公立共済四谷ビル             | 会員<br>各委員         |
| 12月           | 第47回理事会<br>各委員会開催                              | 〃<br>〃                      | 理事<br>各委員         |
| 平成22年<br>1月   | 各委員会開催                                         | 〃                           | 〃                 |
| 2月            | 各委員会開催                                         | 〃                           | 〃                 |
| 3月            | 第48理事会<br>各委員会開催                               | 〃<br>〃                      | 会員<br>各委員         |

※日付があるのは確定。

## <編集後記>

教材については「教材整備緊急3カ年計画」、理科とICTについては「経済対策一補正予算」で千歳一隅の予算措置がされた。この予算を各会員の成果と成すには各会員の知

恵と活動如何による。せっかくのチャンスを実のりある物にして平成21年度は教材業界にとって久々に良い年であったといえる年にいたしましょう。